

# 津島

福島は語る・第二章

「津島」上映会

ドキュメンタリー映画

帰ることが叶わなくとも

わたしの故郷はたしかに“ここ”にある

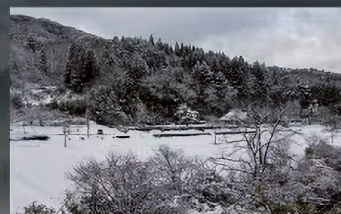
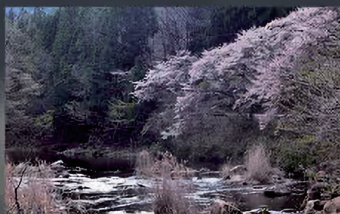


土井敏邦 監督作品 [doi-toshikuni.net/j/tsushima](http://doi-toshikuni.net/j/tsushima)

監督・撮影・編集・製作：土井敏邦／整音：藤口諒太／音楽：李政美（歌・作曲）・武藤類子（作詞）／写真提供：森住 卓／宣伝デザイン：野田雅也・尾尻弘一  
ウェブ広報：ハディ・ハーニ／配給協力・宣伝：リガード　ドキュメンタリー／2023／日本／187分／DCP　© 2023 DOI Toshikuni

帰還困難区域に指定された故郷・津島  
総勢18名、3時間を超える圧巻のオーラル・ヒストリー

# 100年は帰れない 故郷の姿を100年先につなぐ 災禍の時代を共に生きる 私たちに託された証言ドキュメンタリー



## 第一章 記録

今野義人



## 第二章 開拓

関場健治／三瓶宝次  
志田昭治／馬場績



## 第三章 共同体

石井ひろみ／今野千代  
須藤カノ



## 第四章 伝統文化

今野秀則



## 第五章 家族喪失

三瓶春江／武藤晴男  
佐々木やす子



## 第六章 子どもの傷

柴田明美／明範  
須藤カノ／隼人／玲



## 第七章 棄民

今野秀則／末永一郎



## 第八章 故郷

馬場績



## 最終章 帰郷

紺野宏

浪江町津島は福島県の東部、阿武隈山系の山々に囲まれた人口約1400人の平穏な山村でした。福島第一原発から北西に30キロも離れているにもかかわらず、2011年3月11日の事故直後に大量の放射性物質が降り注ぎ、「帰還困難区域」に指定されたまま、現在も多くの住民が帰れずにいます。

故郷を離れ10年以上を経た今も、人々の心の中には津島での日々がありました。貧しかった開拓時代の記憶、地域コミュニティと共にあった暮らし、綿々と受け継がれてきた伝統文化、今は亡き家族との思い出…。

100年は帰れないと言われた故郷・津島の歴史と、そこで生きてきた人々の記憶と感情を映像化したのは、『福島は語る』（2018年）の土井敏邦監督。裁判記録「ふるさとを返せ 津島原発 原告意見陳述集」に記された住民たちの言葉に衝撃を受けた土井監督は、「この声を映像で記録したい」と原告32名の元を訪ね歩き、10ヶ月にわたるインタビューを敢行しました。

総勢18名による、全9章、3時間を超える圧巻の語りの数々。その聞き手となるのは、災禍の時代を共に生きる私たち一人ひとりです。



doi-toshikuni.net/j/tsushima/



toshikunidoi.documentary.info



@infodoi

日時 **8月18日**

午前11時から監督・土井敏邦氏講演、  
12時半から上映開始

会場 **武蔵野芸能劇場**

JR三鷹駅・北口から徒歩1分  
(武蔵野市中町1-15-10)

参加費 **500円**

主催「福島をわすれない」プロジェクト

連絡先 ▶ 藤元理津子 ☎090-4169-5900



日本勤労者山岳連盟関東ブロック協議会  
新日本スポーツ連盟、むさしの山荘 (登山用品専門店・  
三鷹駅から3分)